

## 第○学年 外国語活動指導案【Tokushimaモデル】

「言語活動を通して」児童に身に付けさせたい資質・能力を育成することが求められています。何のためにコミュニケーションを図るのかという、その活動を行う目的や場面、状況等を明確にし、それを児童と共有することが大切です。児童の姿を具体的にイメージしながら作りましょう。

日 時 ○○年○月○日 (○) ○校時  
 指導者 HRT ○○ ○○  
 ALT ○○ JTEの場合もある。  
 場 所 ○○○○教室

- 1 単元名 ありがとうの気持ちをつたえよう！  
 (参照：○○○○○)

この単元での児童のゴールの姿が表れるような単元名を考えてみましょう。

- 2 単元について  
 ○児童観  
 ○教材観  
 ○指導観

学級の児童の実態やこれまでの外国語活動の様子、教材の内容・価値等や本単元の目標等に触れながら簡潔に書く。単元終末の言語活動については、目的や場面、状況等を具体的に示す。

単元終末の言語活動として、学級の友達に・・・ために、・・・をする。・・・をすること  
 で、・・・を味わわせたい。

児童のやってみたい、やってみようという意欲を喚起するような、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等を設定しましょう。単元を通して言語活動を行う目的や場面、状況等を常に児童に意識させましょう。

- 3 単元の目標

児童の立場から書く。

学級の友達など身近な人に感謝の気持ちを伝えるカードを作るために、相手に伝わるように工夫しながら、色や形など身の回りのものについて、欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合う。

目標の記述は、資質・能力を総合的に育成する観点から、三つの柱に分けずに文で示す。

- 4 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	色や形など、身の回りのものについて、What do you want? や～, please. などを用いた表現を聞くことに慣れ親しんでいる。	※次単元と合わせて、記録に残す評価を行う。	※次単元と合わせて、記録に残す評価を行う。
単元の目標と評価規準を一致させ、年間で3観点3領域をバランスよく評価します。 全ての単元で3観点から評価しなければいけないものではありません。			
話すこと「やり取り」	色や形など、身の回りのものについて、What do you want? や～, please. などを用いて、欲しいものを尋ねたり答えたりすることに慣れ親しんでいる。	学級の友達など身近な人に感謝の気持ちを伝えるカードを作るために、相手に伝わるように工夫しながら、 <u>色や形など、身の回りのものについて</u> 、欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合っている。  <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">                     ※ ----- 目的等                      = 事柄・話題                 </div>	学級の友達など身近な人に感謝の気持ちを伝えるカードを作るために、相手に伝わるように工夫しながら、 <u>色や形など、身の回りのものについて</u> 、欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合おうとしている。

- 5 単元の指導と評価の計画（4時間）

時	目標（◆）と主な活動（○）	評 価			◎評価規準（評価方法） ※指導・学習改善のための評価（方法）
		知 技	思 判 表 表	態 度	
1	◆日本語と英語の音声の違いに気付くとともに、色や形など、身の回りのものの言い方を知る。 ○Let's Sing ○Activity ○振り返り	(聞)			※色や形など、身の回りのものの言い方について聞き取っている。 (行動観察・振り返りシート点検)
...					

4 本時	◆学級の友達など身近な人に感謝の気持ちを伝えるカードを作るために、色や形など、身の回りのものについて、欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合う。				
	○Let's Chant ○Activity ○振り返り	や			◎色や形など、身の回りのものについて、What do you want? や ~, please. などを用いて、欲しいものを尋ねたり答えたりしている。 (行動観察・振り返りシート点検)
5	◆学級の友達など身近な人に感謝の気持ちを伝えるカードを作るために、色や形など、身の回りのものについて、欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合う。		や	や	
	○Let's Chant ○Activity ○振り返り				◎色や形など、身の回りのものについて、What do you want? や ~, please. などを用いて、欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合っている。 (行動観察・振り返りシート点検) ◎色や形など、身の回りのものについて、What do you want? や ~, please. などを用いて、欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合おうとしている。 (行動観察・振り返りシート点検)

※第1時・第2時では、記録に残す評価は行わないが、指導改善・学習改善のための評価（形成的評価）を行う。

6 「CAN-DOリスト」の形での学習到達目標（第○学年）

聞くこと	話すこと [やり取り]	話すこと [発表]
各校で定めている「CAN-DOリスト」を記載し、学習到達目標との関連を明確にしましょう。		

7 本時の活動（第4時）

(1) 目標 学級の友達など身近な人に感謝の気持ちを伝えるカードを作るために、色や形など、身の回りのものについて、欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合う。

(2) 展開

時間	児童の活動	指導者の活動		指導上の留意点 ◎評価規準（評価方法）
		HRT	ALT	
2分	Greeting			・英語で挨拶し、楽しい授業が始まる雰囲気をつくる。
	Let's Chant	本時のめあて		児童と共有し、児童に学習への見通しをもたせましょう。
	Activity			◎～している。（行動観察） ◎～している。（行動観察）
	Reflection	1人1台端末等をメインで活用した場面を太文字で記入し、枠で囲みましょう。		
	Greeting			

(3) 評価及び指導の例

「話すこと [やり取り] の知識・技能」		「おおむね満足できる」状況を実現した児童が、さらに質的な深まりや高まりもっている姿を具体的に想定して記述しましょう。
「十分満足できる」と判断される状況	.....	.....している。
「おおむね満足できる」状況を実現するための具体的な指導	.....	指導の手立てを具体的に記述しましょう。
「努力を要する」状況と判断した児童への事後指導	.....し、.....よう個別支援を行い、.....しながら「おおむね満足できる」を達成できるようにする。	

※第1時の「.....」(形成的評価)の場合

(3) 児童の学習改善につなげるための見取りと指導

「聞くことの知識・技能」	
「おおむね満足できる」と判断される状況	.....するものの、.....を用いて、.....について聞き取っている。
「おおむね満足できる」状況を実現するための具体的な指導	.....よう支援する。

【参考資料】

- 国立教育政策研究所 令和2年3月  
「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」
- 文部科学省 平成29年7月  
「小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 外国語活動・外国語編」  
「小学校外国語活動・外国語 研修ガイドブック」
- NITS 独立行政法人教職員支援機構・文部科学省 令和2年3月  
「令和元年度小学校における外国語教育指導者養成研修」(直山木綿子 視学官研修資料)
- 文部科学省 平成31年3月  
「小学校, 中学校, 高等学校及び特別支援学校等における児童生徒の学習評価及び指導要録の改善等について」